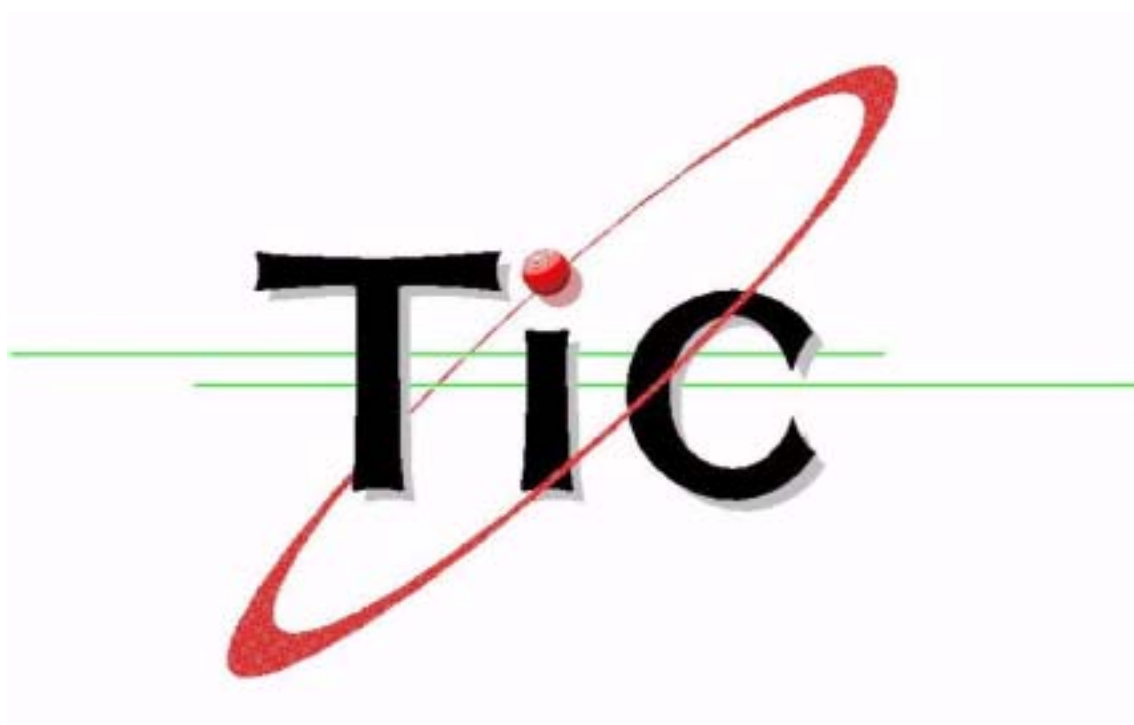


会報 | *Tokai Internet Council*



特定非営利活動法人東海インターネット協議会
平成20年(2008年)5月発行

(表紙裏面白紙)

目次

理事長のことば	2
1. 東海インターネット協議会について	3
2. 平成19年度(2007年度)事業計画書	4
3. 平成19年度(2007年度)事業報告	6
4. 各事業の活動報告、その他	12
5. 会員一覧	25
6. 定款	26
7. 入会申込書	33
8. TIC ネットワーク関係年表	34
9. 付録 WWW ページで見た地域ネットワーク協議会の動向調査 第9版	38

理事長のことは

東海インターネット協議会
理事長 中田 平

東海インターネット協議会の新年度は総会と併設講演会で幕を開けることが恒例となっています。平成19年度は、2007年5月19日(土)に、あいちベンチャーハウスにおきまして開催された総会に引き続いて併設講演会を行いました。「SNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)のチカラ」と題して2つの講演をお願いしました。

第1講演は原田和英さんを講師をお願いして、「巨大人脈をつくる SNS のチカラについて」というお話を伺いました。

原田さんは『巨大人脈 SNS のチカラ』、『意外と知られていない SNS の謎を解く』、『ソーシャル・ネットワーキング・サービス 縁(えん)の手帖』、『招待状、届きましたか? SNS で始める新しい人脈づくり』の著者で、SNS の論客の若手第一人者と言って過言ではない方です。面識のない私の厚かましい申し出を快く引き受けていただいたことに感謝しなくてはなりません。お話は SNS の歴史から現在のトレンドまで非常に幅広く、日本の mixi はもとより、なじみの少ない外国の SNS まで紹介していただきました。例年になく参加者が多かったのは、やはりトレンドのチカラか、と改めて感じました。

第2講演は安藤建一さんで、「オープンソースとしての SNS ソフトウェア開発の裏話」をテーマにお話しいただきました。安藤建一さんは株式会社音生(neo)取締役システムディレクター、OpenPNE の後継 Usagi の中心プログラマーで、名古屋発にこだわって地元からオープンソース SNS の輪を広げることを目指しています。

第17回 オープンソースソフトウェアセミナーは「オープンソースの CMS を使ってみよう」をテーマにソフトウェア技術者協会(SEA)名古屋支部と共催で2008年1月26日、あいちベンチャーハウスで開催されました。講師は Geeklog の今駒哲子氏、MODx の山本昌範、与刀招音の両氏でした。第18回 オープンソースソフトウェアセミナーは、SNS の講演会からの縁で、Usagi Project の勉強会を定期的に応援しました。2007年7月14日の「第1回 Usagi Project 勉強会」と2008年2月23日の「MyNETS のサーバ性能に関する実証実験」がそれです。また、2008年3月15日に開催された「jus 研究会 JAPAN TOUR 2007-2008」を後援しました。

2007年12月2日に「インターネット社会を安全に暮らすための講習会」を開催し、特別セミナー「IPv4 アドレス枯渇とインターネットの今後」も開催しました。

東海インターネット協議会が JNSA 賞を受賞しました。JNSA(NPO 日本ネットワークセキュリティ協会)は情報セキュリティ向上のための活動を積極的に行い広く社会に貢献した団体などに JNSA 賞を設定し、2007年度を受賞団体に TIC も選ばれました。主として「インターネット安全教室」を主催してインターネット上のセキュリティ問題の啓発に努力したためです。今後とも啓蒙活動も続けていけということだと思っています。

1. 東海インターネット協議会について

特定非営利活動法人東海インターネット協議会は、平成14年(2002年)1月24日、特定非営利活動法人として申請し、5月末に法人登記を行い、特定非営利活動法人 東海インターネット協議会として前身の東海インターネットワーク協議会から生まれ変わりました。

なお、前身の東海インターネットワーク協議会(Tokai Internet Council : TIC)は、東海地区における電子計算機ネットワークの健全な発展のために、電子計算機間相互の接続(インターネットワーク)に関する技術水準の向上、およびその利用促進に寄与し、インターネットワークにより形成される産業、学術、文化などの諸分野における活動の支援を行なうことを目的として平成4年(1992年)7月3日に設立されたものです。

特定非営利活動法人東海インターネット協議会の目的は、定款第3条に示すように「この法人は、愛知・三重・岐阜・静岡の地域市民(中小企業事業者と社員、学校・大学、身体障害者、等)に対して、インターネットの技術および利用に関する啓発・普及、インターネット接続技術および利用技術に関する研究・開発、学校教育へのインターネット利用の支援、障害者を支援するためのインターネット利用方法の研究・紹介、等の事業活動を行い、当地域におけるコンピュータネットワークの健全な発展を通じて、社会教育の推進に寄与することを目的とする。」としております。また、特定非営利活動の種類としては、定款第4条で、「この法人は、前条の目的を達成するために、次に掲げる種類の特定非営利活動を行ないます。

- (1) 情報化社会の発展を図る活動
- (2) 社会教育の推進を図る活動
- (3) 保健、医療又は福祉の増進を図る活動

この法人の主な目的は(1)および(2)であります。が、障害者を支援するためのインターネット利用方法の研究・紹介を行なうため、(3)の活動を行う。」とうたっております。

特に(1)に追加された情報化社会の発展を図る活動は、平成14年(2002年)暮れに改正された法律に基づく活動であることを明記しておきます。

東海インターネット協議会 平成19年度(2007年度)の役員構成を以下に示します。

理事長	中田 平		
副理事長	後藤 邦夫	理事	佐宗 利幸
同	大橋 知子	同	石田 浩之
理事	水野 徳重	同	永田 圭司
同	鈴木 常彦	同	石川 雅彦
同	萩原 秀和	監事	田坂 雄一
同	江坂 昭	同	溝口 泰正

2. 平成19年度(2007年度)事業計画書

2.1 事業の実施方針

特定非営利活動法人東海インターネット協議会は、前年に引き続き、地域市民、中小企業事業者と社員、小中高のコンピュータ教育担当教員、身体障害者に対して、インターネットの技術および利用に関する啓発・普及、インターネット接続技術および利用技術に関する研究・開発、学校教育へのインターネット利用の支援、障害者を支援するためのインターネット利用方法の研究・紹介、等の事業活動を通じて、当地域におけるコンピュータネットワークの健全な発展に寄与することを目的とし、次の事業を計画実施する。

具体的には、本法人の定款第5条第1項の事業として、インターネットの技術および利用に関する啓発・普及事業、インターネット接続技術および利用技術に関する研究・開発事業、学校教育へのインターネット利用の支援事業、障害者を支援するためのインターネット利用方法の研究・紹介事業、中小企業社員・学生・市民に対するインターネット技術の教育事業を実施する。

2.2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施予定日時	実施予定場所	従事者の予定人数	受益対象者の範囲及び予定人数	支出見込額(千円)
(1) TIC 講座事業	ソフトウェア技術者協会名古屋支部などの東海地区の関連団体とオープンソースのビジネスへの応用を模索するために研究会を6回程度開催する	平成19年6月～20年3月まで	名古屋市内	講師10名	一般市民を対象100～200人	500
(2) ビジネス応用事業	次世代ネットワークを利用した新しいビジネス応用を目的とした調査研究、セミナーなどの実施	平成19年6月～20年3月まで	名古屋市内	実行責任者4名	両会員および一般市民を対象。	100
(3) インターネット技術事業	ネットワークプログラミング勉強会(OSカーネル、SocketからWebアプリケーションまで)を年12回程度を目標に定期的に開催する。	平成19年6月～20年3月	名古屋市内	実行責任者5名	会員および一般市民を対象。各回10名程度の参加を予定。	100
(4) TIC シンポジウム事業	「ソーシャル・ネットワーキング・サービス」をテーマにシンポジウム開催	平成19年5月	名古屋市内	実行責任者5名	一般市民を対象40人を予定	90
(5) 福祉啓発事業	障害者のインターネット利用活動を支援	平成19年6月～20年3月まで(継続事業)	Webサーバー上で公開	実行責任者3名	障害者・ボランティア団体関係者、その他市民多数	50

(6)教育 支援事業	経済産業省、日本ネットワークセキュリティ協会(JNSA)との共催にて、「インターネット安全教室」愛知会場の開催。「TIC セミナー」を併設して主催。インターネットを安全につかうための心構え、知識を一般市民に講習する。	平成19年 6月～20 年3月ま で(継続 事業)	愛知県 内 三重県 内	実行責任 者10名	一般市民 300名	200
	JNSAが企画する連絡会議への参加	平成19年 6月～20 年3月ま で2回程 度	愛知 県、三 重県、 岐阜 県、静 岡県内	実行責任 者3名	一般市民か ら募集する支 援者20名。 支援を受ける 一般市民200 名	70

(2)その他の事業

該当なし

3. 平成19年度(2007年度)事業報告

3.1 事業実施の概略

特定非営利活動法人東海インターネット協議会は、愛知・三重・岐阜・静岡の地域市民に対して、インターネットの技術および利用に関する啓発・普及、インターネット接続技術および利用技術に関する研究・開発、学校教育へのインターネット利用の支援、障害者を支援するためのインターネット利用方法の研究・紹介、等の事業活動を行い、当地域におけるコンピュータネットワークの健全な発展を通じて、社会教育の推進ならびに情報化社会の発展に寄与することを目的とし、次の事業を計画実施しました。

具体的には、以下のとおりです。

- (1) インターネット講座事業としてオープンソースセミナー(主催)とUsagiProject勉強会(後援)を合計5回実施した。
- (2) ビジネス応用事業として、「次世代 IP ネットワーク推進フォーラムの加盟」、「新世代ネットワーク推進フォーラムの参加の検討」、「IP meeting 2007 への参加」、「次世代 IP ネットワーク推進フォーラム総会への出席」を行った。
- (3) インターネット技術事業として、「ネットワークプログラミング勉強会」を6回開催した。
- (4) TIC シンポジウム事業として、「ソーシャル・ネットワーキング・サービス」をテーマにシンポジウムを1回開催した。
- (5) 福祉啓発事業として、障害者支援のための交流メーリングリストの維持管理を継続実施した
- (6) 教育支援事業として、経済産業省、NPO 日本ネットワークセキュリティ協会(JNSA)との共催で、「インターネット安全教室」を愛知(名古屋)で1回開催した。併設セミナーとして、一般市民を対象にネットワークセキュリティ啓発講座を開催した。
その他、東海スクールネット研究会(任意団体)の例会に1回2名の講師を派遣した

第2項その他の事業(収益事業)は今年度も実施しなかった。

3.2 事業の実施に関する事項

- (1) 特定非営利活動に係る事業
 - (ア) TIC 講座事業

開催日	開催場所	テーマ	講師、パネリスト、司会	従事者	参加者
平成19年 4月21日 (土)	あいちベンチャーハウス	コマーシャル・オープンソース SugarCRM , Scalix	福光正樹 久保元治	理事2名	33名
平成19年 6月16日 (土)	あいちベンチャーハウス	3時間でわかる VoIP&IP-PBX	高橋隆雄	理事2名	17名

平成19年 7月14日 (金)	あいちベンチャーハウス	OpenPNE から派生したソーシャルネットワークウェア「MyNETS」の国際化とモジュール化実装についての勉強会 (UsagiProject 主催の後援)	辻岡国治 鈴木憲治 安藤建一	理事 1 名	-
平成20年 1月26日 (土)	あいちベンチャーハウス	オープンソースのCMSを使ってみよう	今駒哲子 山本昌範 与刀招音	理事 2 名	41 名
平成20年 2月23日 (土)	あいちベンチャーハウス	オープンソースによる大規模サイト構築	鈴木憲治 長谷川誠 安藤建一	理事 2 名	27 名

収入：103,500 円 支出 307,481 円

(イ) ビジネス応用事業

ビジネス応用事業として、次世代 IP ネットワーク推進フォーラムに加盟をして次世代ネットワークを利用した新しいビジネス応用を目的とした調査研究を実施した。

開催日	開催場所	テーマ	講師、パネリスト、司会	従事者	参加者
平成19年 11月22日 (木)	秋葉原コンベンションホール	IP meeting 2007		理事 1 名	
平成20年 3月24日 (月)	東京グリーンパレス「ふじ」	次世代 IP ネットワーク推進フォーラム総会		理事 1 名	

収入：0 円 支出：0 円

(ウ) インターネット技術事業

会員ならびに一般から参加者を募集し、以下の通り 6 回、「TIC ネットワークプログラミング勉強会」を開催した。技術的に高い勉強会でプログラミング経験などを必要とするので、参加者は多くなかったが、会員 7 名、一般 1 名ののべ 8 名が参加し、有用な情報交換と成果を得た。

開催日	開催場所	テーマ	講師、パネリスト、司会	従事者	参加者
平成19年 7月27日 (金)	あいちベンチャーハウス	自己紹介、勉強会の進めかた、作成済資料の紹介	担当理事 (後藤、石川)	理事 3 名	5 名
平成19年 8月22日 (水)	あいちベンチャーハウス	初参加者の自己紹介、練習課題の提案、SIPクライアント(電話)	担当理事 (後藤、石川)	理事 3 名	6 名

平成19年 11月07日 (水)	あいちベンチャーハウス	Ruby NET::DNSライブラリを用いたDNSデバッグ用スクリプト、CoLinux(Windowsから起動するLinux)、仮想ホストを用いたネットワーク実験 他	担当理事 (後藤、石川)	理事3名	6名
平成19年 12月26日 (水)	あいちベンチャーハウス	twisted pythonを用いた簡単ネットワークプログラミング(提案)、P2Pストリーミングプログラムの紹介	担当理事 (後藤、石川)	理事3名	6名
平成20年 1月31日 (木)	あいちベンチャーハウス	2007年度活動のまとめ方針検討、ネットワークスタックの仮想化、Cygwin 他	担当理事 (後藤、石川)	理事3名	7名
平成20年 3月27日 (木)	あいちベンチャーハウス	活動のまとめ、次年度活動方針、スレッド起動数限界の実験	担当理事 (後藤、石川)	理事3名	6名

収入：12,500円(参加費) 支出：10,446円(会合費(茶菓等)、消耗品)

(エ) TIC シンポジウム事業

TIC 総会後に以下の併設講演会を実施し多数の参加を得た。

開催日	開催場所	テーマ	講師、パネリスト、司会	従事者	参加者
平成19年 5月19日 (土)	あいちベンチャーハウス	『巨大人脈をつくるSNSのチカラについて』 『オープンソースとしてのSNSソフトウェア開発の裏話』	原田和英 安藤建一	理事10名	50名

収入：0円 支出：70,000円(講師交通費、資料費)

(オ) 福祉啓発事業

障害者支援のための交流メーリングリストの解散を参加者に提案したが、まだ整理がついていないので、維持管理を継続実施した。

収入：0円 支出：0円

(カ)教育支援事業

インターネット安全教室および併設セミナーを1回開催し、関連するインターネット安全教室連絡会議等に出席した。今年度、JNSA 賞を受賞した。

他に東海スクールネット研究会の例会を共催し、理事2名を講師として派遣した。

開催日	開催場所	テーマ	講師、パネリスト、司会	従事者	参加者
平成19年 10月13 日(土)	ベネッセコーポレーション 名古屋事業所 10階 大会議室	【勉強会:生徒が受けたい50分授業×4+】 『これだけでOK! 情報と通信のセキュリティ』後藤 邦夫 (南山大学/TIC理事) 『これだけでOK! インターネットの脆弱性』鈴木 常彦 (中京大学/TIC理事)	担当理事 (後藤、鈴木)	理事2名	20名
平成19年 12月2日 (日)	あいちベンチャーハウス	インターネット安全教室	担当理事 (大橋)、 運営委員 (岩崎)	理事10名	72名
平成19年 12月2日 (日)	あいちベンチャーハウス	IPv4 アドレス枯渇とインターネットの今後	前村 昌紀	理事10名	60名
平成20年 1月15日 (火)	八重洲富士屋ホテル	JNSA 賀詞交歓会		理事長	
平成20年 3月7日 (金)	メルパルク東京 孔雀の間	インターネット安全教室全国連絡会議		理事長	

収入: 0円 支出: 0円

(注1: 安全教室の広報印刷費用 27,300円はJNSAから全額補助)

(2)その他の事業(収益事業)

本年度は実施しなかった。

収入: 0円 支出: 0円

3.3 会議の開催に関する事項

(1) 総会

通常総会を1回開催した。今年度は臨時総会開催の必要がなかった。

(ア) 通常総会

第 1 回	
日時	平成 19 年 5 月 19 日(土) 15:00 ~ 15:30
場所	あいちベンチャーハウス セミナー室
議題	<ul style="list-style-type: none"> ・平成18年度事業報告ならびに収支決算 ・平成19年度役員 ・定款附則の追加 ・(平成19年度理事会) ・平成19年度事業計画ならびに収支予算 ・定款の一部変更(事務所、運営委員会)

(イ) 臨時総会

開催なし。

(2) 理事会

本法人の運営のために理事会を合計 8 回開催した。議事の概要は以下の通りである。

第 1 回	
日時	平成 19 年 5 月 19 日(土) 15:00 ~
場所	あいちベンチャーハウス セミナー室
議題	・平成 19 年度事業計画ならびに収支予算

第 2 回	
日時	平成 19 年 7 月 3 日(火) 17:30 ~
場所	あいちベンチャーハウス 会議室
議題	<ul style="list-style-type: none"> ・役所手続き状況の報告 ・NICT(次世代IPネットワーク推進フォーラム)の会員登録 ・インターネット安全教室連絡会議出席報告(6/15) ・各事業の詳細計画と担当理事の決定 ・事業毎の収支記録の徹底 ・名刺の作成

第 3 回	
日時	平成 19 年 8 月 21 日(火) 17:30 ~
場所	あいちベンチャーハウス セミナー室
議題	<ul style="list-style-type: none"> ・TIC Web ページの更新 ・インターネット安全教室準備 ・各種イベントの協力団体として AIA を受け入れる

	<ul style="list-style-type: none"> ・その他報告 ・第一回ネットワークプログラミング勉強会開催 ・経産省 情報化月間表彰 ノミネート ・10月下旬桑名で安全教室が開催予定 ・Alternet Week 2007(仮称)の状況報告 ・10 or 11月に FSIJ・SEA 共催のセミナーを FLOSS 桜山が協力して名古屋で開催予定
--	---

第 4 回

日時	平成 19 年 9 月 20 日(木) 17:30 ~
場所	あいちベンチャーハウス セミナー室
議題	<ul style="list-style-type: none"> ・インターネット安全教室三重(桑名)の支援 ・東海スクールネット研究会の共催、講師派遣

第 5 回

日時	平成 19 年 10 月 23 日(火) 18:00 ~
場所	あいちベンチャーハウス A 会議室
議題	<ul style="list-style-type: none"> ・インターネット安全教室の広報 ・安全教室併設講演会

第 6 回

日時	平成 19 年 11 月 22 日(木) 18:00 ~
場所	あいちベンチャーハウス セミナー室
議題	<ul style="list-style-type: none"> ・セミナー、勉強会実施報告 ・2007 年度 JNSA 賞 特別賞受賞の可否 ・インターネット安全教室 ・併設講演会(IP アドレスの枯渇)の実施計画

第 7 回

日時	平成 20 年 1 月 28 日(月) 18:00 ~
場所	あいちベンチャーハウス セミナー室
議題	<ul style="list-style-type: none"> ・勉強会、セミナーの会費設定方針 ・インターネット安全教室連絡会議出席者

第 8 回

日時	平成 20 年 4 月 21 日(月) 18:30 ~
場所	あいちベンチャーハウス A 会議室
議題	<ul style="list-style-type: none"> ・収支決算案 ・総会議案、併設講演会 ・会報作成

4. 各事業の活動報告、その他

4.1 オープンソースソフトウェアセミナー

オープンソースソフトウェアセミナーは2003年9月に始まり、2007年度は、第15回から第18回までと、「第1回 Usagi Project 勉強会」の合計5回開催しました。以下、実行委員を紹介し、各回の内容、参加者数について報告します。

(1) 実行委員

氏名	所属
鈴木 常彦	TIC 理事/中京大学
永田 圭司	TIC 理事/旧 NLUG
田村 耕一	NBUG/SEA 名古屋
佐古田 純哉	旧 NLUG
小沢 英裕	もじら組
唐木 孝則	TIC 会員
小出 範明	Joomla!
立岩 佑一郎	名古屋大学大学院

(2) 開催内容

第15回	
テーマ	コマーシャル・オープンソース SugarCRM , Scalix
日時	平成19年(2007年)4月21日(土) 14:00 - 17:30
場所	あいちベンチャーハウス 3F セミナー室
主催	NPO 東海インターネット協議会(TIC) (https://www.tokai-ic.or.jp/) ソフトウェア技術者協会(SEA) 名古屋支部 (http://sea.forums.gr.jp/nagoya/)
協力	日本 UNIX ユーザ会(jus) (http://www.jus.or.jp/) 日本 Linux 協会(jla) (http://jla.linux.or.jp/) 名古屋 * B S D (NBUG) (http://www.nagoya.bug.gr.jp/) 東海オープンソースコミュニティ(TOSC) 日本 PostgreSQL ユーザ会 名古屋支部(NPUG)
広報 URL	http://wiki.tokai-ic.or.jp/hiki.cgi?OpenSourceSM15
セミナー	1.SugarCRM 講師: 福光正樹 (株式会社ケアブレインズ コンサルタント) プロフィール: 武蔵工業大学 電気電子工学部卒。先進的な企業内検索ソリューションおよびナレッジマネジメント関連の開発およびコンサルティング業務を経て2006年よりケアブレインズに参画。 SugarCRM に関する製品仕様策定、開発を主にセールスエンジニア、コンサルタントを担当。

	<p>2. Scalix 講師: 久保元治 (日本スケリックス株式会社 代表取締役社長) プロフィール: 大阪大学理学部卒業。持田製薬(株)では研究開発部門でコンピュータに触れ、(株)SAS インスティテュートジャパンでエンドユーザサポート、ユーザ教育、マニュアル制作などに携わる。 1997年(株)サードウェアを設立し代表取締役に就任。 Linuxによるサーバ構築や運用サポートに取り組む一方で、独自のZ-Linuxの開発や電子メール関連ソリューションの充実に注力。 2006年日本スケリックス株式会社を設立して代表取締役に就任。</p>																																									
参加状況	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>合計</th> <th>TIC</th> <th>SEA</th> <th>協力団体</th> <th>一般</th> <th>スタッフ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>申込者</td> <td>37</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>12</td> <td>14</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>欠席者</td> <td>4</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>3</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>飛入参加者</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>参加者</td> <td>33</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>11</td> <td>11</td> <td>4</td> </tr> </tbody> </table>								合計	TIC	SEA	協力団体	一般	スタッフ	申込者	37	2	3	12	14	4	欠席者	4	0	0	1	3	0	飛入参加者	0	0	0	0	0	0	参加者	33	2	3	11	11	4
	合計	TIC	SEA	協力団体	一般	スタッフ																																				
申込者	37	2	3	12	14	4																																				
欠席者	4	0	0	1	3	0																																				
飛入参加者	0	0	0	0	0	0																																				
参加者	33	2	3	11	11	4																																				

第16回	
テーマ	3時間でわかる VoIP&IP-PBX
日時	平成19年(2007年)6月16日(土) 14:00 - 17:30
場所	あいちベンチャーハウス 3F セミナー室
主催	NPO 東海インターネット協議会(TIC) (https://www.tokai-ic.or.jp/) ソフトウェア技術者協会(SEA) 名古屋支部 (http://sea.forums.gr.jp/nagoya/)
協力	日本 UNIX ユーザ会(jus) (http://www.jus.or.jp/) 日本 Linux 協会(jla) (http://jla.linux.or.jp/) 名古屋 * B S D (NBUG) (http://www.nagoya.bug.gr.jp/) 東海オープンソースコミュニティ(TOSC) 日本 PostgreSQL ユーザ会 名古屋支部(NPUG)
広報 URL	http://wiki.tokai-ic.or.jp/hiki.cgi?OpenSourceSM16
セミナー	講師: 高橋隆雄 プロフィール: 『Asterisk でつくる IP 電話システム』や『Asterisk 徹底活用ガイド』の著者 http://voip-info.jp/wiki2/index.php/%E3%81%9F%E3%81%8B%E3%81%AF%E3%81%97 最近、IP電話の障害がニュースをにぎわせて問題になっていますが、VoIP技術によって、電話が革命的に安く運用できるようになってきました。 今回はVoIPの基礎から、オープンソースソフト Asterisk を使った電話システムの構築まで、DEMOも交えて、3時間で理解してしまおうという大変欲張ったセミナーとなりました。

参加状況		合計	TIC	SEA	協力団体	一般	スタッフ	AVH
	申込者	21	2	2	5	7	4	1
	欠席者	0	0	0	1	2	0	1
	飛入参加者	0	0	0	0	0	0	0
	参加者	17	2	2	4	5	4	0

第1回 Usagi Project 勉強会	
テーマ	OpenPNE から派生したソーシャルネットワーキングソフトウェア「MyNETS」の国際化とモジュール化実装についての勉強会
日時	平成19年(2007年)7月14日(金) 14:00 - 18:00
場所	あいちベンチャーハウス 3F セミナー室
主催	Usagi Project (http://usagi.mynets.jp/)
後援	NPO 東海インターネット協議会(TIC) (https://www.tokai-ic.or.jp/)
協賛	あいちベンチャーハウス (http://www.venture-house.jp/)
広報 URL	http://wiki.tokai-ic.or.jp/hiki.cgi?StudyMeeting02
勉強会	<p>勉強会のテーマは</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. MyNETS とは？ OpenPNE との違いなど 2. 多言語展開に必要な効率の良い仕様と実装について 3. 機能のモジュール化における効率の良い仕様と実装について <p>で、</p> <p>SNS エンジンの開発に興味がある方 PHP アプリの国際化手法などに興味がある方 OpenPNE を改造して使おうと思っている方、すでに改造してしまった方 MyNETS、Usagi Project に関する質問などがある方 MyNETS、Usagi Project に興味がある方</p> <p>を対象として開催されました。</p>

第17回	
テーマ	オープンソースのCMSを使ってみよう
日時	平成20年(2008年)1月26日(土) 14:00 - 17:30
場所	あいちベンチャーハウス 3F セミナー室
主催	NPO 東海インターネット協議会(TIC) (https://www.tokai-ic.or.jp/) ソフトウェア技術者協会(SEA) 名古屋支部 (http://sea.forums.gr.jp/nagoya/)
協力	日本 UNIX ユーザ会(jus) (http://www.jus.or.jp/) 日本 Linux 協会(jla) (http://jla.linux.or.jp/) 名古屋 * B S D (NBUG) (http://www.nagoya.bug.gr.jp/) 東海オープンソースコミュニティ(TOSC) 日本 PostgreSQL ユーザ会 名古屋支部(NPUG)
広報 URL	http://wiki.tokai-ic.or.jp/hiki.cgi?OpenSourceSM17

セミナー	<p>最近、コンテンツ更新を特別な知識がなくても出来るように、CMS(コンテンツ管理システム)を使って構築運用されているWEBが増えています。このCMSもオープンソースで開発された優秀なシステムが沢山あります。そうした中で今回は、ブログ機能が充実して携帯電話にも対応している「SOHO AWARDS 2007」選考委員賞受賞の「Geeklog」と、Ajax 技術を活用した管理画面が特徴的で「CMS AWARDS '07」受賞の「MODx」をとり上げてセミナーを行いました。</p> <p>講師は「Geeklog 導入ガイド」、「MODx でつくる!最強のCMS サイト」のそれぞれの執筆者の方をお迎えして、それぞれのシステムの特徴と活用方法等について御講演いただきました。</p> <p>1. Geeklog 講師: 今駒哲子(「Geeklog 導入ガイド」の執筆者のお1人)</p> <p>2. MODx 講師: 山本昌範、与刀招音(「MODx でつくる!最強のCMS サイト」の執筆者のお2人)</p>																																			
参加状況	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>合計</th> <th>TIC</th> <th>SEA</th> <th>一般</th> <th>スタッフ</th> <th>AVH</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>申込者</td> <td>40</td> <td>5</td> <td>1</td> <td>26</td> <td>7</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>欠席者</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>飛入参加者</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>参加者</td> <td>41</td> <td>5</td> <td>1</td> <td>26</td> <td>7</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table>		合計	TIC	SEA	一般	スタッフ	AVH	申込者	40	5	1	26	7	1	欠席者	1	0	0	1	0	0	飛入参加者	2	0	0	1	0	1	参加者	41	5	1	26	7	2
	合計	TIC	SEA	一般	スタッフ	AVH																														
申込者	40	5	1	26	7	1																														
欠席者	1	0	0	1	0	0																														
飛入参加者	2	0	0	1	0	1																														
参加者	41	5	1	26	7	2																														

第 18 回	
テーマ	オープンソースによる大規模サイト構築
日時	平成12年(2008年)2月23日(土) 14:00 - 17:30
場所	あいちベンチャーハウス 3F セミナー室
主催	NPO 東海インターネット協議会(TIC) (https://www.tokai-ic.or.jp/) ソフトウェア技術者協会(SEA) 名古屋支部 (http://sea.forums.gr.jp/nagoya/) UsagiProject (http://usagi.mynets.jp/)
協力	日本 UNIX ユーザ会(jus) (http://www.jus.or.jp/) 日本 Linux 協会(jla) (http://jla.linux.or.jp/) 名古屋 * B S D (NBUG) (http://www.nagoya.bug.gr.jp/) 東海オープンソースコミュニティ(TOSC) 日本 PostgreSQL ユーザ会 名古屋支部(NPUG)
広報 URL	http://wiki.tokai-ic.or.jp/hiki.cgi?OpenSourceSM18
セミナー	Usagi プロジェクトが昨年末に実施した実証実験の結果報告を兼ねて、PHP などを使ったオープンソースを利用して大規模、高負荷に耐える Web サイトを構築する上で気になるパフォーマンス評価や開発手法をご紹介します。また、今回は Windows ベースによる高負荷に耐えうる Web サイト構築についてもご紹介いただきました。

	<p>1. MyNETS のサーバ性能に関する実証実験 講師：鈴木憲治 (Usagi プロジェクト)</p> <p>オープンソース SNS エンジン「MyNETS」は、大規模な稼働例がまだ存在しておらず、また、ベンチマーク・データも全く公表されていません。 そこで、今回の実験では、5 台のサーバ構成で、どの程度のパフォーマンスが出るのかをベンチマークし、今後の大規模サイト構築のための参考データを提供いただきました。</p> <p>2. Microsoft Server2008 での高負荷実証実験 講師：長谷川誠 (株式会社ステップワイズ)</p> <p>Microsoft 社の最新版 IIS とデータベースを使用し、フェールオーバークラスタリング技術の実証実験レポートと、今後の Microsoft 製品での大規模サイト構築のための参考データを紹介されました。 米マイクロソフトの ASP.NET プラットホーム用に開発されたオープンソースのコンテンツ管理システム DotNetNuke も紹介されました。</p> <p>3. PHP フレームワークプログラミング 講師：安藤建一 (株式会社音生)</p> <p>PHP フレームワークを使用して、いかに高負荷に耐えられる設計やプログラミングを行うべきか、言語を PHP に限定し、その解説されました。</p>																																			
<p>参加状況</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>合計</th> <th>TIC</th> <th>SEA</th> <th>一般</th> <th>スタッフ</th> <th>AVH</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>申込者</td> <td>29</td> <td>4</td> <td>0</td> <td>20</td> <td>4</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>欠席者</td> <td>3</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>3</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>飛入参加者</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>参加者</td> <td>27</td> <td>4</td> <td>0</td> <td>18</td> <td>4</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>		合計	TIC	SEA	一般	スタッフ	AVH	申込者	29	4	0	20	4	1	欠席者	3	0	0	3	0	0	飛入参加者	1	0	0	1	0	0	参加者	27	4	0	18	4	1
	合計	TIC	SEA	一般	スタッフ	AVH																														
申込者	29	4	0	20	4	1																														
欠席者	3	0	0	3	0	0																														
飛入参加者	1	0	0	1	0	0																														
参加者	27	4	0	18	4	1																														

4.2 ビジネス応用事業

(1) 事業内容

次世代ネットワークを利用した新しいビジネス応用を目的とした調査研究、セミナーなどの実施

(2) 活動概要

次世代 IP ネットワーク推進フォーラムの加盟

2007 年 6 月に東海インターネット協議会は次世代 IP ネットワーク推進フォーラムに団体として加盟をした。

次世代 IP ネットワーク推進フォーラムの詳細については下記の URL を参照のこと。

<http://ngnforum.nict.go.jp>

新世代ネットワーク推進フォーラムの参加の検討

2007年11月に発足した新世代ネットワーク推進フォーラムへの参加の検討した。
2008年4月現在、参加をしていない。

新世代ネットワーク推進フォーラムは概略の設立趣旨は以下である。

ブロードバンド環境の拡大や情報通信サービスの高度化・多様化に伴い、情報通信ネットワークは社会・経済活動の根幹を支える必要不可欠な社会インフラとなっており、今後も安全・安心な社会の構築や新規産業創出等の基盤となることが期待されています。このため、IPネットワークの更なる高機能化に向けた検討が進められておりますが、その一方で、IPネットワークの次の世代を見越した新しい設計思想・技術による新世代ネットワークの実現に向けた活動を速やかに開始すべきことが求められています。

このような中、我が国といたしましても、新世代ネットワークの実現に向けた検討を加速し、技術力及び競争力の確保につなげていくことが喫緊の課題となっています。この検討においては、産学官の連携を強化して、幅広い分野からの知見を取り込み、戦略的な取り組みを推進していくことが重要であるため、「新世代ネットワーク推進フォーラム」の設立を企画いたしました。

本フォーラムには、通信事業者、通信機器製造業者、学識経験者等、産学官広範囲の分野からご参加いただき、オールジャパンの体制で新世代ネットワークの実現に向けた取り組みを推進してまいりたいと考えております。

本フォーラムでは、既存技術の延長に捉われることなく、様々な分野の知見を結集して検討を行い、戦略的・総合的に研究開発を推進してまいります。また、本フォーラムの活動を通じて、新世代ネットワークの実現に向けた国際的な検討の中で、先導的かつ主導的役割を果たしていく決意であります。

設立発起人代表 齊藤 忠夫

IP meeting 2007 出席

2007年11月22日 IP meeting 2007 に出席し、聴講をした。
特に、本事業においてはIMSの研究を進めていかなければならない。
その意味で「HOTARU プロジェクト」の発表について関心を持った。

「HOTARU プロジェクト」はオープンソース公開するという話しであったが、
2008年5月現在、ソース公開はされていない。

次世代 IP ネットワーク推進フォーラム総会の出席

2008年3月24日次世代 IP ネットワーク推進フォーラムに第2回定期総会に
出席をした。本目的はワーキンググループの活動内容の調査である。

簡単ではあるが、その際の報告を以下に記す。

件名 次世代 IP ネットワーク推進フォーラム出席

日時 2008/03/24 13:30 ~ 17:00

場所 東京グリーンパレス「ふじ」

受領資料

- 1) 次世代 IP ネットワーク推進フォーラム 第2回定期総会 議事次第
- 2) 次世代 IP ネットワーク推進フォーラム 第2回定期総会シンポジウム

内容

1 次世代 IP ネットワーク推進フォーラム第2回定期総会(13:30-14:20)

- 1) 開会 定員数の確認
- 2) 会長挨拶 東京大学名誉教授 齋藤先生
- 3) 来賓挨拶 総務省総合通信基盤局長 寺崎氏
- 4) 部会報告(平成19年度活動報告、平成20年度活動計画)

企画推進部会

NGN ワークショップの開催(平成19年7月23日)

技術部会(部会長:早稲田大学後藤教授)

技術基準 WG: IP 電話、コンテンツ配信、固定・移動シームレス、端末・網に関する技術基準を検討して総務省情報通信審議会に反映をしていく。

相互接続 WG: 関係団体からの要望を受けて、接続試験ニーズに対応する。

研究開発・標準化部会(部会長:工学院大学浅谷教授)

戦略検討 WG: インフラ系技術(QoS など)、セキュア系技術(IPTV など)、サービス系技術を検討して、ITU-T の標準化を検討する。

ホームネット WG: ITU-T J.190 に向けた検討を行うとともに、次世代ホームネットワークに関する勉強会を実施し、総務省は実施した相互接続実験等に参加をする。

IP 端末部会(部会長:東京大学相田教授)

開発推進 WG: IP 端末とネットワークの相互接続確認テストベッド等の検討

責任分担モデル WG: 法令上の責任モデルの検討、策定、消費者保護対策の検討

5) 利活用促進部会の新規設置

次世代 IP ネットワークの利活用の促進に関する検討を行う部会を設置する。

部会長は慶應義塾大学 國領教授とする。

6) 役員改選

会長 東京大学名誉教授 齋藤先生

副会長 日本電信電話 宇治副社長

副会長 KDDI 伊藤副社長

を選任する。

7) 幹事候補

齋藤会長より示された28名の幹事を選任する。

新幹事名は割愛する。

2 次世代 IP ネットワーク推進フォーラム第2回定期総会シンポジウム(14:35-17:00)

1) 来賓ご挨拶 佐藤 勉 総務副大臣

2) モデレータ 齋藤先生よりパネルディスカッションの主旨説明があった。

サービスプロバイダ3社、ベンダ3社、通信事業者3社からの説明を受けて NGN の戦略・課題について議論をする。

3) パネルディスカッションの説明

NHK 放送研究所

「コンテンツ制作、サービスにおける利活用～IP ネットワークに関わる研究開発の取り組み～」

セールスフォース・ドットコム

「SaaS の動向と有効性について」

インターネットイニシアティブ

「次世代 IP ネットワークの利活用方策、次世代 IP ネットワークの期待・展望」

松下電器産業

「ユビキタス時代のホームネットワーク」

ソニー

「NGN が実現する HD 高品質アプリケーション」

日本電気

「次世代 IP ネットワークへの NEC の取り組み」

日本電信電話

「これからのブロードバンド・ユビキタス社会に向けて～NTT の NGN への取り組み」

KDDI

「次世代 IP ネットワーク KDDI の取り組み」

ソフトバンク

「Softbank グループの目指す次世代ネットワーク」

3 感想

- 1) 総会について、WGの動きがある程度わかった。具体的に、WGの中のSWGに入らないと議論ができない。早急にSWGに加入をしたい。
- 2) 来賓について、現役の副大臣のご意見を拝聴できると思っていなかった。大臣間の国際会議の内容も拝聴できて非常に貴重な経験ができた。
- 3) シンポジウムについて、これからはSaaS/IP マルチメディアの2つの技術に着目をしていく必要がある。どのように関与できるのかを計画・立案をする必要がある。
- 4) この内容は3日間ぐらいのコースであり、半日ですべてを理解することは不可能に近い。この推進フォーラムのレベルの高さの表れである。
- 5) このフォーラムが総務省が方針を決めて、大学が研究を行い、企業が製品開発を行う、という中央の流れそのものであり、地方では経験できないことであると実感できた。

(3) 平成19年度事業に関する課題

次世代IPネットワーク推進フォーラムのWGメンバとして活動

WGメンバにならないと詳細な技術情報が入手できない。

さらに調査研究を進める上では、WGメンバとなる必要がある。

新世代ネットワーク推進フォーラムへの参加の検討

次世代IPネットワーク推進フォーラム同様に参加を検討する必要がある。

IMSの検討

「HOTARU」プロジェクトなどIMSの動向を調査するとともに、実装について研究を行う。

セミナーの開催

上記テーマに基づき、東海地区においてセミナーを開催する。

4.3 平成 19(2007)年度 TIC ネットワークプログラミング勉強会 活動報告

会場: あいちベンチャーハウス会議室/セミナー室

参加者: 後藤 邦夫 (担当理事)、石川 雅彦 (担当理事)、鈴木 常彦 (会員(理事))、
山口 (会員)、加納 (会員)、猿渡(会員)、児玉 (会員)、外山 (一般)

2008年4月を含めて、合計7回実施し、のべ8名が参加した。各回の日程は、事業報告を参照のこと。

参加者向け Web ページの閲覧を希望されるかたは、goto@tokai-ic.or.jp までおしらせください。URL とパスワードをおしらせします。

自己紹介

石川理事 ネットワークプログラミング教育方法の難しさ。若年層は抽象的になるとやる気がなくす。telnet やパケットキャプチャで実験しながら理解するとよい。

後藤理事 ネットワークの細かいことを中心に卒論などで色々なプログラムを作成して実験している。参加者向け Web ページ(パスワード付き)にノウハウをまとめていく。GUI の付け方などを知りたい。

他の参加者から

- ・twisted python などをつかって、かんたんで役に立つプログラムをつくりたい。
- ・ruby で DNS チェッカーなどをつくっている。細かいプログラミングはなしで、ライブラリ利用。
- ・いろいろやっている。
- ・勉強中。
- ・Linux kernel ハック(device driver 修正他)、組込み、CG、ネットワーク、ワイヤレスマルチホップ通信など多彩

勉強会で実験したおもな内容

DNS の NS レコードを問い合わせる ruby スクリプト例

User Mode Linux で divert socket(パケット横取り)してネットワーク遅延を発生

P2P で放送型ストリーミング

Linux/FreeBSD でのネットワークスタックの仮想化

Linux/FreeBSD におけるスレッド数の限界に挑戦

普通の Linux に追加された netfilter の新機能 (iptables -j NFQUEUE)

でパケットを横取り

(参考; 参加者向け Web ページの目次)

一般向け解説

- * (Level -1) ネットワークを流れるデータ、OSでの処理、キャプチャ方法
- * (Level 0) Level 0. socket を使うための知識 (初級から中級)
- * (Level 1) はじめての socket 利用プログラミング
- * (Level 2) broadcast, multicast
- * (Level 3) 入出力の多重化、並行処理、タイマ(シグナルでジャンプ処理)
- * (Level 4) bind(), UDP connect(), accept()など

一般向けアプリケーション

1. UDP で音声を送受信(/dev/dsp の使いかた含む)
2. UDP で動画送受信(Video4Linux の使いかた含む)
3. RTP/RTCP と SIP でインターネット電話つくりたいなあ
4. 擬似ライブ遠隔多重録音 (ある程度できているが未整理)

ネットワークエンジニア向け解説

1. raw IP socket
2. Linux Divert socket(IPv6 divert はオリジナル)
3. IPv6 TCP, UDP, ICMPv6
4. データリンク層 Socket(Linux), libpcap
5. tuntap device の利用(Linux)
6. Socket Options
7. 送信、受信時刻、TTL 設定/取得
8. Linux 高解像度タイマ
9. ホストの仮想化、UMLKit をつくりました

C++ライブラリ

GNU Telephony(CommonCPP2)

ネットワークエンジニア向けアプリケーション


1. ネットワークエミュレータ GINE
2. 簡単な NTP クライアント(C++と Java)
3. ゲートキーパー Step by Step (外部から遅延、ロス、スループット制限を指定できるブリッジ) (最終更新 2007/08/30)
4. IPv6 擬似ルータ広告送信と 仮想 IPv6 モバイルノード

Linux カーネル

1. コンパイルと起動
2. カーネルとの通信
3. Divert socket のためのカーネルハック (iptables 修正含む)

4.4 インターネット安全教室

(1) 2007年度 インターネット安全教室

2007年度 インターネット安全教室開催報告書			
開催地	愛知県 名古屋市	開催日時	2007年12月2日(日) 14:00-15:30 (開場13:30)
会場	会場施設名:あいちベンチャーハウス 3階セミナー室 会場住所 :名古屋市中区新栄二丁目2番24号		
主催者	特定非営利活動法人 東海インターネット協議会		
共催者	経済産業省、NPO 日本ネットワークセキュリティ協会(JNSA)		
後援	警察庁、愛知県、名古屋市、財団法人 人工知能研究振興財団、 特定非営利活動法人 ITコーディネーター協会、 特定非営利活動法人 ITC 中部		
講師	特定非営利活動法人 東海インターネット協議会 運営委員 岩崎しのぶ 特定非営利活動法人 東海インターネット協議会 理事 大橋知子		
主催者挨拶	特定非営利活動法人 東海インターネット協議会 理事長 中田平		
共催者挨拶			
警察講師			
スタッフ	特定非営利活動法人 東海インターネット協議会 12名		
その他			
プレス	中日新聞 12月1日朝刊(愛知県内版掲載)		
配布資料	・当日プログラム ・ノベルティ、CD-ROM 冊子		
定員	100名		
参加者数	一般参加者:57名 総勢参加者:72名(来賓(JPNIC)関係スタッフ含む)		
【来場者の特徴】		【会場写真添付欄】	
<p>ITコーディネーターの方が多かったが、年配のご夫婦やお子様連れの方、学生さんもいらっしやうり、様々な世代の方が参加していた。</p> <p>ビデオや講師の説明に対しては熱心に耳を傾け、またクイズ学習の場においては回答番号への挙手など、来場者全般にわたって積極的な参加姿勢が見受けられた。</p>			

【内容】

14:00 開演

定刻に、特定非営利活動法人 東海インターネット協議会(以下 TIC) 中野事務局長の司会で開会され、配布資料の確認が行われた。引き続き、TIC 中田理事長からの挨拶が行われ、講師である TIC 岩崎運営委員の紹介があった。

14:05-14:30 CD-ROM 上映

講師 岩崎氏が挨拶し、約 20 分間、CD-ROM「インターネット安全教室」の上映を行った。

14:30-14:55 講師解説

講師 岩崎氏が上映内容を中心に、パワーポイントを使って講師解説を行った。

14:55-15:20 クイズ学習

クイズ学習の担当講師として、TIC 大橋理事の紹介があった。

講師 大橋氏の挨拶の後、参加者全員がクイズの正解と思われる選択肢に挙手をする、あるいは無作為に選んだ参加者の考えを個別に伺うなど、体験学習を実施した。

15:20-15:30 質疑応答

質問1:届いた迷惑メールを削除すると、消したことが相手にわかってしまい、自分のメールアドレスが実在することを教えることにならないか？

回答:メールサーバーからメールが届いた後は、メールデータは自分の携帯やパソコン側に移ってきているので、一般的にはこれを消しても相手に伝わることはない。

質問2:Windows Update は自動設定が推奨との話であったが、Microsoft の更新は週1回とか月1回とか実施される日が決まっていると聞いている。その更新が実施される日のみ、Windows Update をした方がリスクは少ないのではないか？ 常に更新を受け入れるような設定になっていると、そこから悪意のあるプログラムを送りつけられる心配もある。

回答:確か米国時間の毎月第2火曜日と決まっていたと思われるが、緊急性の高い Update はこれとは別に随時出される場合がある。従って、その適用が遅れることが無いように自動設定をお奨めする。

質問3:今日の話は、『悪いものに引っ掛からないように』ということが主眼に置かれた内容にであったが、もし実際に引っ掛かった場合にはどこに相談すればよいのか？

回答:本日のテキストの22ページに「情報セキュリティ関連のホームページ」として様々な機関を紹介しているが、もし巻き込まれてしまった場合にはここに掲載されている、警察や消費者相談室、国民生活センターなどへ相談していただきたい。

(2) JNSA 賀詞交歓会

JNSA(日本ネットワークセキュリティ協会)はネットワーク・セキュリティに関する活動が認められ、2001年5月に特定非営利活動法人(NPO)として認可された団体。

平成20年1月15日(火)に八重洲富士屋ホテルにてJNSA賀詞交歓会が開催され、理事長が出席した。

インターネット安全教室を中心とする情報セキュリティ普及啓発活動を活発に実施することにより、広く一般社会のセキュリティ知識の向上に貢献したことにより、JNSA賞の特別賞として、上田市マルチメディア情報センター(所長 清水 卓爾氏)、特定非営利活動法人ナレッジふくい(理事長 高嶋 公美子氏)と並んで東海インターネット協議会が表彰された。

<http://www.jnsa.org/jnsaaward/2007/winner.html> 参照

(3) インターネット安全教室全国連絡会議

平成20年3月7日(金)に、東海インターネット協議会の代表として理事長がインターネット安全教室のための全国連絡会議に出席した。

<http://www.jnsa.org/index.html> 参照

参加者は北海道から九州までの様々な団体で、今後のインターネット安全教室の運営についての協議を行った。

5. 会員一覧

会員番号	名称	種別
1002	愛知学院大学	組織
1016	学校法人梅村学園	組織
1017	株式会社エイチ・オー・エス	組織
1023	金城学院大学	組織
1036	株式会社ミントウェーブ	組織
1039	中部大学	組織
1040	中部テレコミュニケーション株式会社	組織
1044	愛知東邦大学 (旧 東邦学園大学・短期大学)	組織
1050	豊橋技術科学大学	組織
1053	名古屋工業大学	組織
1061	日本福祉大学メディア教育センター	組織
1076	名城大学	組織
1077	株式会社メイテツコム	組織
1085	株式会社中日新聞社	組織
1102	愛知県立大学	組織
1119	株式会社 SRA 中部事業部	組織
1121	東邦ガス情報システム株式会社	組織
1128	株式会社アプレッツ	組織
1131	株式会社シーテック情報通信本部	組織
1132	愛知工業大学	組織
2007	島田 さとみ	個人
2011	松井 幸平	個人
2019	大杉 健一	個人
2020	石田 亨	個人
2021	渡邊 広隆	個人
2022	奥村 晴彦	個人
2023	唐木 孝則	個人
2025	城下 修	個人
2026	渥美 清隆	個人
2027	大橋 知子	個人
2028	河合 勝彦	個人
2029	田坂 雄一	個人
2030	後藤 邦夫	個人
2031	小澤 英裕	個人
2032	永田 圭司	個人
2033	安藤 建一	個人
2034	児玉 照美	個人
2035	江坂 昭	個人
3009	東海ソフト株式会社	賛助
3015	西日本電信電話株式会社 名古屋支店	賛助

6. 定款

特定非営利活動法人

東海インターネット協議会 定款

法人設立	平成14年	5月20日
改訂	平成15年	11月15日
改訂	平成18年	5月13日
改訂	平成19年	5月19日
改訂(予定)	平成20年	5月17日

第1章 総則

(名称)

第1条 この法人は、特定非営利活動法人東海インターネット協議会といい、その英文表記をTokai Internet Council、略称をTIC(ティーアイシー)とする。

(事務所)

第2条 この法人は、主たる事務所を愛知県名古屋市中区丸の内3丁目6番25号に置く。

第2章 目的及び事業

(目的)

第3条 この法人は、愛知・三重・岐阜・静岡の地域市民(中小企業事業者と社員、学校・大学、身体障害者、等)に対して、インターネットの技術および利用に関する啓発・普及、インターネット接続技術および利用技術に関する研究・開発、学校教育へのインターネット利用の支援、障害者を支援するためのインターネット利用方法の研究・紹介、等の事業活動を行い、当地域におけるコンピュータネットワークの健全な発展を通じて、社会教育の推進ならびに情報化社会の発展に寄与することを目的とする。

(特定非営利活動の種類)

第4条 この法人は、前条の目的を達成するために、次に掲げる種類の特定非営利活動を行う。

(1) 情報化社会の発展を図る活動

(2) 社会教育の推進を図る活動

(3) 保健、医療又は福祉の増進を図る活動

この法人の主たる目的は(1)および(2)であるが、障害者を支援するためのインターネット利用方法の研究・紹介を行うため、(3)の活動を行う。

(事業)

第5条 この法人は、第3条の目的を達成するため、次の事業を行う。

(1) 特定非営利活動に係る事業

インターネットの技術および利用に関する啓発・普及事業

インターネット接続技術および利用技術に関する研究・開発事業

学校教育へのインターネット利用の支援事業

障害者を支援するためのインターネット利用方法の研究・紹介事業

中小企業社員・学生・市民に対するインターネット技術の教育事業

(2) その他の事業

インターネットの技術及び利用に関する事業

2 前項第2号に掲げる事業は、同項第1号に掲げる事業に支障がない限り行うものとし、その収益は同項第1号に掲げる事業に充てるものとする。

第3章 会員

(会員の種別)

第6条 この法人の会員は次の2種とし、正会員および賛助会員をもって特定非営利活動促進法(以下「法」という。)上の社員とする。

(1) 正会員 この法人の目的に賛同して入会した個人及び団体(以下正会員たる個人を「個人正会員」、正会員たる団体を「団体正会員」といい、両者を「正会員」という。)

(2) 賛助会員 この法人の事業を賛助するた

め入会した個人及び団体

(入会)

第7条 正会員及び賛助会員の入会条件については、特に定めないものとする。

2 正会員及び賛助会員として入会しようとする者は、理事長が別に定める入会申込書により、理事長に申し込むものとし、理事長は理事会および運営委員会の承認を経て、正当な理由がない限りその者の入会を認めなければならない。

3 理事長は、前項のもの入会を認めないときは、速やかに、理由を付した書面をもって本人にその旨を通知しなければならない。

(入会金及び会費)

第8条 正会員及び賛助会員は入会金及び会費を納入するものとする。

2 個人正会員で理事になった者は会費を免除する。

3 入会金及び会費の金額は、総会の議決を経て別に定める。

(会員資格の喪失)

第9条 正会員及び賛助会員が次の各号の一に該当するに至ったときは、その資格を喪失する。

- (1)理事長に退会届の提出をしたとき。
- (2)本人が死亡し、又は正会員及び賛助会員である団体が消滅したとき。
- (3)1年以上会費を滞納したとき。
- (4)除名されたとき。

(退会)

第10条 正会員及び賛助会員は、理事長が別に定める退会届を理事長に提出して、任意に退会することができる。

(除名)

第11条 会員が次の各号の一に該当する場合は、総会において、出席した正会員の3分の2以上の議決により、これを除名することができる。た

だし、その会員に対し、議決の前に弁明の機会を与えなければならない。

- (1)この法人の定款等に違反したとき。
- (2)この法人の名誉を傷つけ、又は目的に反する行為をしたとき。

(会費等の不返還)

第12条 既納入の会費その他の拠出金品は、返還しない。

第4章 役員及び職員

(種別及び定数)

第13条 この法人に、次の役員を置く。

- (1)理事 3名以上15名以内
- (2)監事 2名

2 理事のうち、1名を理事長、2名以内を副理事長とする。

(選任等)

第14条 理事及び監事は、総会において選任する。

2 理事長及び副理事長は、理事の互選とする。

3 役員のうちには、それぞれの役員について、その配偶者若しくは3親等以内の親族が1人を超えて含まれ、又は当該役員ならびにその配偶者及び3親等以内の親族が役員の総数の3分の1を超えて含まれることになってはならない。

4 監事は、理事又はこの法人の職員を兼ねることができない。

(職務)

第15条 理事長は、この法人を代表し、その業務を総理する。

2 副理事長は、理事長を補佐し、理事長に事故があるとき又は理事長が欠けたときは、理事長があらかじめ指名した順序によって、その職務を代行する。

3 理事は、理事会を構成し、この定款の定め及び理事会の議決に基づき、この法人の業務を

執行する。

4 監事は、次に掲げる職務を行う。

- (1) 理事の業務執行の状況を監査すること。
- (2) この法人の財産の状況を監査すること。
- (3) 前2号の規定による監査の結果、この法人の業務又は財産に関し不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実があることを発見した場合には、これを総会又は所轄庁に報告すること。
- (4) 前号の報告をするために必要がある場合には、総会を招集すること。
- (5) 理事の業務執行の状況、又はこの法人の財産の状況について、理事に意見を述べ、若しくは理事会の招集を請求すること。

(任期等)

第16条 役員は任期は2年とし、再任を妨げない。

2 補欠のため、又は増員によって就任した役員の任期は、それぞれの前任者又は現任者の任期の残任期間とする。

3 役員は前二項の規定にかかわらず、後任者が選任されていない場合に限り、任期の末日後、最初の社員総会が終結するまで、その任期を伸長する。

(欠員補充)

第17条 理事又は監事のうち、その定数の3分の1を超える者が欠けたときは、遅滞なくこれを補充しなければならない。

(解任)

第18条 役員が次の各号の一に該当するに至ったときは、総会の議決により、これを解任することができる。この場合、その役員に対し、議決する前に弁明の機会を与えなければならない。

- (1) 心身の故障のため、職務の執行に堪えないと認められるとき。
- (2) 職務上の義務違反その他役員としてふさわしくない行為があったとき。

(報酬等)

第19条 役員は、無報酬とする。

2 役員には、その職務を執行するために要した費用を弁償することができる。

3 前項に関し必要な事項は、総会の議決を経て、理事長が別に定める。

(職員)

第20条 この法人に、事務局長その他の職員を置く。

2 職員は、理事長が任免する。

第5章 総会

(種別)

第21条 この法人の総会は、通常総会及び臨時総会の2種とする。

(構成)

第22条 総会は、正会員および賛助会員をもって構成する。

(権能)

第23条 総会は、以下の事項について議決する。

- (1) 定款の変更
- (2) 解散
- (3) 合併
- (4) 事業計画及び収支予算並びにその変更
- (5) 事業報告及び収支決算
- (6) 役員の選任又は解任、職務及び報酬
- (7) 入会金及び会費の額
- (8) 借入金(その事業年度内の収入をもって償還する短期借入金を除く。第52条において同じ。)
- (9) 事務局の組織及び運営
- (10) その他運営に関する重要事項

(開催)

第24条 通常総会は、毎年2回開催する。

2 臨時総会は、次の各号の一に該当する場合には開催する。

- (1) 理事会が必要と認め招集の請求をしたとき。
- (2) 会員総数の5分の1以上から会議の目的を記載した書面をもって招集の請求があったとき。
- (3) 第15条第4項第4号に定めるところにより、監事から招集があったとき。

(招集)

第25条 総会は、前条第2項第3号の場合を除き、理事長が招集する。

2 理事長は、前条第2項第1号及び第2号の規定による請求があったときは、その日から60日以内に臨時総会を招集しなければならない。

3 総会を招集するときには、会議の日時、場所、目的及び審議事項を記載した書面をもって、少なくとも開会日の5日前までに通知しなければならない。

(議長)

第26条 総会の議長は、理事長がこれにあたる。

(定足数)

第27条 総会は、正会員及び賛助会員の総数の2分の1以上の出席がなければ開会することができない。

(議決)

第28条 総会における議決事項は、第25条第3項の規定によってあらかじめ通知した事項とする。

2 総会の議事は、この定款に規定するもののほか、出席した正会員及び賛助会員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(表決権等)

第29条 総会における各正会員及び賛助会員の表決権は平等なるものとする。

2 やむを得ない理由のため総会に出席できな

い正会員及び賛助会員は、あらかじめ通知された事項について、書面をもって表決し、又は他の正会員又は賛助会員を代理人として表決を委任することができる。

3 前項の規定により表決した正会員及び賛助会員は、前2条及び次条第1項の適用については、総会に出席したものとみなす。

4 総会の議決について、特別の利害関係を有する正会員及び賛助会員は、その議事の議決に加わることができない。

(議事録)

第30条 総会の議事については、次の事項を記載した議事録を作成しなければならない。

- (1) 日時及び場所
- (2) 会員総数及び出席会員総数(書面表決者又は表決委任者を含む)
- (3) 審議事項
- (4) 議事の経過の概要及びその結果
- (5) 議事録署名人の選任に関する事項

2 議事録には、議長及びその会議において選任された議事録署名人2人以上が署名、押印しなければならない。

第6章 理事会

(構成)

第31条 理事会は、理事をもって構成する。理事になることができる者は個人正会員もしくは団体正会員に所属する個人とする。

(権能)

第32条 理事会は、この定款で別に定めるもののほか、次の事項を議決する。

- (1) 総会に付議すべき事項
- (2) 総会の議決した事項の執行に関する事項
- (3) その他総会の議決を要しない会務の執行に関する事項

(種類及び開催)

第33条 理事会は、次の各号の一に該当する

場合に開催する。

- (1) 理事長が必要と認めるとき。
- (2) 理事総数の3分の1以上から会議の目的を記載した書面によって招集の請求があったとき。
- (3) 第15条第4項第5号の規定により、監事から招集の請求があったとき。

(招集)

第34条 理事会は、理事長が招集する。

2 理事長は、前条第1項第2号及び第3号の規定による請求があったときは、その日から30日以内に理事会を招集しなければならない。

3 理事会を招集するときは、会議の日時、場所、目的及び審議事項を記載した書面をもって、少なくとも開会日の5日前までに通知しなければならない。

(議長)

第35条 理事会の議長は、理事長がこれにあたる。

(議決)

第36条 理事会における議決事項は、第34条第3項の規定によってあらかじめ通知した事項とする。

2 理事会の議事は、理事総数の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(表決権等)

第37条 各理事の表決権は、平等なるものとする。

2 やむを得ない理由により理事会に出席できない理事は、あらかじめ通知された事項について書面をもって表決することができる。

3 前項の規定により表決した理事は、次条第1項の適用については、理事会に出席したものとみなす。

4 理事会の議決について、特別の利害関係を有する理事は、その議事の議決に加わることが

できない。

(議事録)

第38条 理事会を開催したときは、次の事項を記載した議事録を作成しなければならない。

- (1) 日時及び場所
- (2) 理事総数、出席者数及び出席者氏名(書面表決者にあつては、その旨を付記すること)
- (3) 審議事項
- (4) 議事の経過の概要及び議決の結果
- (5) 議事録署名人の選任に関する事項

2 議事録には、議長及び出席した理事の中からその会議において選任された議事録署名人2人以上が署名、押印をしなければならない。

第7章 委員会

(運営委員会)

第39条 この法人の日常的運営のために運営委員会を設置する。

2 運営委員会の運営に関する必要な事項は、理事会の議決を経て別に定める。

(その他の委員会)

第40条 その他この法人の運営上必要があるときは、理事会の議決により運営委員会とは別に委員会を置くことができる。

2 この委員会の運営に関する必要な事項は、理事会の議決を経て別に定める。

第8章 資産及び会計

(資産の構成)

第41条 この法人の資産は、次の各号に掲げるものをもって構成する。

- (1) 設立当初の財産目録に記載された資産
- (2) 入会金及び会費
- (3) 寄付金品
- (4) 財産から生じる収入
- (5) 事業に伴う収入

(6)その他の収入

(資産の区分)

第42条 この法人の資産は、これを分けて特定非営利活動に係る事業に関する資産及びその他の事業に関する資産の2種とする。

(資産の管理)

第43条 この法人の資産は、理事長が管理し、その方法は、総会の議決を経て、理事長が別に定める。

(会計の原則)

第44条 この法人の会計は、法第27条各号に掲げる原則に従って行うものとする。

(会計の区分)

第45条 この法人の会計は、これを分けて特定非営利活動に係る事業に関する会計及びその他の事業に関する会計の2種とする。

(事業計画及び予算)

第46条 この法人の事業計画及びこれに伴う収支予算は、理事長が作成し、総会の議決を経なければならない。

(暫定予算)

第47条 前条の規定にかかわらず、やむを得ない理由により予算が成立しないときには、理事長は、理事会の議決を経て、予算成立の日まで前事業年度の予算に準じ収入支出することができる。

2 前項の収入支出は、新たに成立した予算の収入支出とみなす。

(予備費の設定及び使用)

第48条 予算超過又は予算外の支出に充てるため、予算中に予備費を設けることができる。

2 予備費を使用するときは、理事会の議決を経なければならない。

(予算の追加及び更正)

第49条 予算作成後にやむを得ない事由が生じたときは、総会の議決を経て、既定予算の追加又は更正を行うことができる。

(事業報告及び収支決算)

第50条 この法人の事業報告書、収支計算書、貸借対照表及び財産目録等の決算に関する書類は、毎事業年度終了後、速やかに、理事長が作成し、監事の監査を受け、総会の議決を経なければならない。

2 決算上剰余金を生じたときは、次事業年度に繰り越すものとする。

(事業年度)

第51条 この法人の事業年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

(臨機の措置)

第52条 予算をもって定めるもののほか、借入金の借入れその他新たな義務の負担をし、又は権利の放棄をしようとするときは、総会の議決を経なければならない。

第9章 定款の変更、解散及び合併

(定款の変更)

第53条 この法人が定款を変更しようとするときは、総会に出席した正会員及び賛助会員の4分の3以上の多数による議決を経、かつ、法第25条第3項に規定する軽微な事項を除いて所轄庁の認証を得なければならない。

(解散)

第54条 この法人は、次に掲げる事由により解散する。

- (1) 総会の議決
- (2) 目的とする特定非営利活動に係る事業の成功の不能
- (3) 正会員及び賛助会員の欠亡
- (4) 合併

(5)破産

(6)所轄庁による設立の認証の取消し

2 前項第1号の事由によりこの法人が解散するときは、正会員及び賛助会員総数の4分の3以上の承諾を得なければならない。

3 第1項第2号の事由により解散するときは、所轄庁の認定を得なければならない。

(残余財産の帰属)

第55条 この法人が解散(合併又は破産による解散を除く。)したときに残存する財産は、法第11条第3項に掲げるもののうち、解散時の総会で決議したものに譲渡するものとする。

(合併)

第56条 この法人が合併しようとするときは、総

会において、正会員及び賛助会員総数の4分の3以上の議決を経、かつ、所轄庁の認証を得なければならない。

第10章 公告の方法

(公告の方法)

第57条 この法人の公告は、この法人の掲示場に掲示するとともに、官報に掲載して行う。

第11章 雑則

(細則)

第58条 この定款の施行について必要な細則は、理事会の議決を経て理事長がこれを定める。

7. 入会申込書

様式 1

入 会 申 込 書

特定非営利活動法人東海インターネット協議会入会申込書

特定非営利活動法人東海インターネット協議会御中

申込年月日： 2 0 / /

会員種別： 個人・組織・賛助・特別

申込者：

代表者：

代表者署名：

代表者連絡先：〒

TEL() -

FAX() -

e-mail：

担当者：

担当者連絡先：〒

TEL() -

FAX() -

e-mail：

会費請求先：

事務局使用 入会事務手続き 200 / / (FAX にて事務局まで送付ください)

8. TIC ネットワーク関係年表

年	TIC の出来事	世の中の出来事
1989年 冬	東海 UUCP 接続の再編。地区内 12 ドメイン	日本の TOP DOMAIN が jp に決定 (*1)
1990年 10月	地区内 33 ドメイン。JAIN サイト増える	
1992年 3月	TIC 設立準備会発足	
1992年 7月	TIC 設立	
1993年 2月	東海地域ネットワーク(TRENDY)(*2)誕生 (学術実験)	
1994年 4月	東海地域 IP バックボーン(TRIP)(*3)運用開始 (学術実験)	
1994年 6月		第 1 回 NETWORLD + INTEROP JAPAN 開催
1994年 8月	TIC WWW サーバ公開開始	
1994年 9月	TIC 公衆 Delegte サービスを開始	INTERNET MAGAZINE 発刊
1994年 10月		JUNET 協会解散
1994年 11月	TCP - NET、TCP - IP サービス開始	この頃から大手商用 ISP も名古屋地区で サービス開始
1994年 12月		InetClub 解散
1995年 11月		Windows 95 発売 (ダイヤルアップ接続普及) (*5)
1995年 12月	TIC WWW 運用ホストを変更	
1996年 1月	TIC から TCP - NET、TCP - IP サービス運営を 分離	
1996年 3月	TIC WWW 運用ホストを TIC 事務局 に移設	
	TIC WWW 運用ホスト(www2)の新設	
1996年 7月		JP ドメイン登録 1 万突破(*5)
1996年 10月		JPCERT/CC、任意団体として発足
1996年 12月	TIC 実験用運用ホスト(www3)の新設	
1997年 1月		セキュリティ センター (IPA/ISEC) 発足
1997年 3月		JPNIC 社団法人化(*5)
1997年 6月		INS ルータ MN128 - SOHO 発売開始
1997年 8月	TIC 利用 ISP を TCP - NET から OCN に切り替 え	
	金城学院大学の TRIX 接続終了	
1997年 11月	名古屋市科学館の TRIX 接続終了	
1997年 12月	TIC 公衆 Delegate サービスを開始	
	労災リハビリテーション工学センタの TRIX 接続 終了	
	TRIX 運用終了	
1998年 3月	TIC 関係メーリングリストを外部に委託	

1998年 4月	TIC WWW 運用ホストを外部に委託。	
	同時に DNS, メールサーバについても外部に委託	
	TIC 山里 NOC を廃止	
1999年 3月	メーリングリスト、WWW、DNS、メールサーバを一ヶ所に委託へ	3月31日を以って TRAIN(*4)解散
1999年 7月	1日、DNS, MX, WWW サーバの自主運用を再開	7月1日、NTT 再編成
	8日、TIC 総会開催(中区栄(株)電通 中部支社 11F ホール)	
1999年 9月	18 - 19日、TIC 合宿勉強会"ネットワーク管理者 vs アタッカーの攻防"開催	JPドメイン登録 10万突破
1999年 11月	16 - 17日、"インターネットシンポジウム 1999in 東海"開催(吹上ホール)	
2000年 2月	19日、勉強会"インターネット・トレーニングの今と未来"開催	
2000年 3月	TIC メーリングリストの自主運用を再開	
	11日 TRAIN 協会設立総会開催	
	23日(財)科学技術交流財団主催オープンフォーラムに協賛	
2000年 4月	4日、勉強会"セキュリティ脆弱性情報は どう取扱われるべきか"開催 講師:高木浩光氏	
2000年 5月	3 - 5日、浜松祭りインターネット中継	
	13日、日本 UNIX ユーザ会、名古屋 Linux ユーザ会と合同で勉強会を開催	
2000年 6月		6月30日、名古屋めたりっく通信設立
2000年 7月	8日、TIC 総会開催	
	8日、TIC 討論会"早く欲しいな Mbps to TheHome"開催	NTT"フレッツ・アイ"(今のフレッツ・ISDN)サービス開始
2000年 9月	22 - 23日、TIC 合宿開催	
2000年 10月		中部電力による FTTH 実験開始・DDI, KDD, IDO が合併し KDDI に ICANN 理事選挙開始
2000年 11月	14 - 15日、"インターネットシンポジウム 2000in 東海" 開催(吹上ホール)	11月6日、日本語ドメイン名運用試験フェーズ1開始
2000年 12月	27日、TIC 勉強会(1.メールセキュリティ2. NPO 知多ネット)開催(JUS 東海 と合同)	12月26日、株式会社日本レジストリサービス(JPRS)設立
		インターネットウイーク 2000 開催
2001年 2月		汎用 JP ドメイン名優先登録開始

2001年 3月		名古屋めたりっく通信、サービス開始・フレッツ ADSIJ、名古屋での申込受付 開始
2001年 5月	3 - 5日、浜松祭りインターネット中継	
	29日、tokai - ic . jp ドメイン取得	5月1日、マイラインサービス開始
2001年 8月		2ch 閉鎖騒動
2001年 10月		@nifty 会員 500 万突破
		Netscape 6.2 公開
2002年 10月		プレビューで感染するウイルス Bugbear 情報が公開
2002年 11月	TIC NPO 法人化される	
2003年 1月		韓国 slammer ワームの影響でインターネットが9時間マヒ
2003年 3月		JPCERT/CC、中間法人格取得
2003年 5月		NSPIX2 が DIX-IE に変わった
2003年 8月		Windows の Nachi(RPC 系 worm)が蔓延する
2003年 9月	オープンソースソフトウェアセミナー開催開始	
2003年 秋		MELCO 社 BUFFALO 社 に社名変更される
2004年 2月		(株)イー・マーキュリー、SNS(ソーシャルネットワークワーキングサイト)「mixi」の運営を開始
2004年 5月	TIC 総会開催	
2004年 11月	インターネット安全教室(主催:経済産業省、NPO JNSA)に共催	
2005年 5月	TIC 総会開催	
2005年 8月		mixi 会員が 100 万人を突破
2005年 9月	第10回オープンソースソフトウェアセミナー開催	
2005年 11月	インターネット安全教室(主催:経済産業省、NPO JNSA)に共催	
2006年 3月	第13回オープンソースソフトウェアセミナー開催	3月29日、INTERNET MAGAZINE 最終号(2006年5月号)発売.通算136号.以後オンライン化
2006年 4月		ワンセグ(携帯向け地デジサービス)本放送開始
2006年 9月	オープンソースソフトウェアシンポジウム 2006 開催	
2006年 10月	第14回オープンソースソフトウェアセミナー開催	9日、Google が YouTube を買収.
2006年 11月		米 Time 誌、2006年発明大賞(Invention of the Year)に YouTube を選出
2006年 12月	インターネット安全教室(主催:経済産業省、NPO JNSA)に共催	NGN 実験が始まる
2007年 1月		Windows VISTA 発売

2007年4月	第15回オープンソースソフトウェアセミナー開催	
2007年5月	19日, TIC 総会開催	
2007年7月	第1回ネットワークプログラミング勉強会開催	
2007年10月	東海スクールネット研究会 共催	31日,いとじゅんこと萩野純一郎さん逝去.享年37歳。インターネットの発展に多大な貢献。
2007年11月		米 Time 誌,2007年発明大賞(Invention of the Year)に iPhone を選出
2007年12月	2日「インターネット社会を安全に暮らすための講習会」を主催.共催は経済産業省,JNSA	国内のインターネット利用者が8811万人に達し、一般家庭におけるブロードバンド回線は、光がDSLを抜く(2008年4月総務省発表(*6))
2008年1月	TICがJNSA賞を受賞	
2008年2月	第18回オープンソースソフトウェアセミナー開催	
2008年4月	第7回ネットワークプログラミング勉強会開催	

*1) JPNIC ニュースレター第1号による

*2) TRENDY = Tokai REgional Network DYnamics

*3) TRIP = Tokai Regional IP backbone

*4) TRAIN = Tokyo Regional Academic Inter - Network

*5) <http://www.nic.ad.jp/ja/profile/history.html> より

*6) http://www.soumu.go.jp/s-news/2008/080418_4.html

9. 付録 WWW ページで見た地域ネットワーク協議会の動向調査 第9版

第0版 1999年4月16日(作成)

第1版 1999年6月24日

第2版 2001年6月20日

第3版 2002年6月16日

第4版 2003年5月1日

第5版 2004年6月12日

第6版 2005年5月22日

第7版 2006年4月1日

第8版 2007年5月8日

第9版 2008年5月1日

作成: 東海インターネットワーク協議会(第2版まで)

NPO 東海インターネット協議会(第3版から)

本資料は、東海インターネット協議会の今後を検討する際の参考資料として作成したものである。

名称	略称	WWW ページ URL	トップペ ージ最終 更新	会員 数	代表 (所属 役職)	事務局	最近の活動	特記事項	97.9. 5 会 議出 席
北海道地域ネットワーク協議会	NORTH	http:// www.nor th.ad.jp /	200803.0 5	25	会長 辰巳治之 (札幌医科 大学)	(株)SOA ピリカ内	200803.14 第 14 NORTH インタ ーネットシンポジ ウム 2008	2003 年 NPO 認証	
北海道インター ネット協議会	--	http:// hokkai. or.jp/	2008.04	--	--	ホッカ イ・ネット 事務局	--	(株)テクニ カルが 1996 年に ISP サ ービス開始	--
秋田県インター ネット協議会	AIC	http:// www.ha na.or.jp /icn/	--	--	--	--	--	2002 年より 秋田県 IT 基盤協会に 移行 2005 年 5 月 22 日以来、 左記 URL アクセス不 可。	
秋田県 IT 基盤 協会	--	http:// www.it-	2003.1.2 3	6	理事長 杉 澤徹	秋 田 県 鹿 角 市	--	地域プロバ イダ連合会	--

		akita.ne.jp/				花輪		組織 2002年より秋田県インターネット協議会から移行 平成13年12月3日NPO設立登記	
東北地域情報通信ネットワーク連携協議会	--	--	--	--	--	--	2006年6月23日平成18年度通常総会開催 2006年6月次の会員数は28. 旧URLはhttp://www.pref.miyagi.jp/jyoho/kankei/tnw/	2003年1月31日設立。 2007年12月26日解散 (http://www.pref.miyagi.jp/jyoho/rireki/historyH19.htm	-
東北インターネット協議会	TiA	http://www.tia.ad.jp	--	--	--	(財)仙台応用情報学研究振興財団内	1998年9月時点でトップページアクセス可能	2008年4月29日左記URLアクセス不可. 事務局情報は、 http://www.sfais.or.jp/research.htmlによる	
東北学術研究インターネットコミュニティ	TOPIC	http://www.topic.ad.jp/	--	67	--	東北大学情報シナジーセンター内	--	東北地方の研究・教育機関を結ぶインターネットを運営 会員数は http://www.topic.ad.jp/member/index-j.htmlによる	--
桐生広域Internet協議会		http://www.kaic.net/	2006.04.18	100	会長 黒沢 誠	群馬県桐生市宮前町	--	会員数は、参加団体のホームページリンク数。 http://www.ensc.com/	--

								kaic/はアクセス不可	
柏インターネットユニオン	KIU	--	--	--	--	--	2006年5月21日、第26回KIUインターネット教育研究フォーラム開催。2006年時点で会員数45。旧URLはhttp://www.kiu.ad.jp/	2001.3.23特定非営利活動法人認証。学校の情報化を支援。2008年2月23日解散(http://www.chiba-npo.jp/katsudo_shiru/h_jyokyo/kaisan1.html)	--
東京地域アカデミックネットワークN協会	A-TRAI	--	--	--	--	--	2005年12月1日、分散システム/インターネット運用技術シンポジウム2005開催	TRAIN(1992-1999)解散を受け2000年3月発足2008年4月29日現在、www.a-train.orgは売り出し中との表示。	--
山梨地域インターネット協会	YACC	http://www.yacc.or.jp/	2005年6月8日(第7版)	16(第7版)	--	--	2005年6月7日第13回YACC総会開催(第7版)	左記トップページは2008年4月29日現在工事中	
信州インターネット協議会	SINC	--	--	--	--	--	--	(旧URL)www.sinc.ad.jp, susyor7.cs.shinshu-u.ac.jp. これらのページは現在アクセス不可	
富山インターネット協議会	Triton	http://www.triton.jp/	2008-02-25	28	会長米田政明 富山工業高等専門学校 校長	(株)富山県総合情報センター 事業部内	平成20年2月18日(月)、富山県情報産業協会・富山インターネット協議会合同セミナー	(*1)PukiWiki ページより	

							を開催		
富山地域 IX 研究会		http://www.toyama-ix.net/	2008-03-06	16	幹事会代表 米田政明 富山工業高等専門学校校長	インテック・ウェブ・アンド・ゲノム・インフォマテイクス株式会社	第37回定期勉強会開催 (2008/3/6 up)	接続組織数は2007年5月時点のもの	
新潟地域インターネット協議会	NIINA	--	--	--	--	--	--	最初の組織は新潟地域インターネット協議会平成10年3月に解散し、平成10年4月に発足した新潟県高度情報化推進協議会に資産を引継いだ	
新潟県 IT&ITS 推進協議会	http://www.n-it-its.jp/	http://www.n-it-its.jp/	2007年	145	新潟県知事	新潟県総務管理部情報政策課情報化推進係	平成20年5月28日、平成20年度総会開催予定 平成19年2月7日 ICT 政策セミナーを開催 http://www.live-cam.pref.niigata.jp/ で新潟 Live カメラ設置画像を公開	平成13年4月、新潟県高度情報化推進協議会から移行 H13年4月27日規約施行開始 会員数は会費納入組織数に基づく	-
北陸地域情報ネットワーク協議会	FITnet	http://www.jais.t.ac.jp/iscenter/fitnet/	2005.11	47	会長 村井忠邦 富山大学総合情報基盤センターセンター長	富山県立大学計算機センター内	2005/11/2 FITnet 記念講演会	会員数は2003年4月30日時点平成15年度の第10回通常総会議案書による	
東海インターネット協議会	TIC	https://www.tokai-ic.or.	2008.04.13	24(*1)	理事長 中田平 (金城学院)	あいちベンチャーハウス	2008年5月19日、通常総会、併設講演会開	1992年設立。 2002年5月	

		jp/			大学 教授)	内	催予定。 オープンソース ソフトウェアセミ ナーを2003年 より開催中。 2004からイン ターネット安 全教室共催。	NPO 法人 化 (*1)2008年 4月点の組 織会員数	
特定非営利活 動法人 NPO 知 多ネット	chitanet	http:// www.chi tanet.or .jp/	2007.05. 07	17 (*1)	理事長 間瀬康文	愛知県 知多郡 武豊町	パソコンわい わい相談室、IT ママ講習会開 催	(*1)平成15 年4月1日 現在	--
第5地区ネットワ ークコミュニティ	NCA5	http:// www.nc a5.ad.jp /	2008.2.1 5	56 (*1)	--	京都大 学学術 情報メ ディアセ ンター 内	2008年2月14 日第16回総会	京都大学 学術情報メ ディアセン ターが主 催するネッ トワークコ ミュニティ。学 術研究を支 援するため のIPネッ トワークに 関する情報 交換および ネットワーク 環境の整備 、発展を目的 とする (*1)2006年 1月18日現 在	--
京都情報基盤 協議会	Kyoto-P net	http:// www.kii c.or.jp/	--	--	--	--	平成18年3月3 日第12期臨時 総会開催	--	--
京都高度情報 化推進協議会		http://a llkyoto. picky.or .jp/inde x.html	2006.6.1 8	103	--	--	--	京都情報 基盤協議 会との組織 統合によりI Tコンソー シアム京都に 移行	
ITコンソーシア ム京都		http:// www.it- kyoto.jp /	2006.6.1 8	142	会長 富田 眞治 京都 大学大学 院情報学 研究科長	京都府 企画環 境部企 画参事 内	平成18年6月8 日 ITコンソ シアム京都設立 総会・記念講演 会 平成19年5月	京都高度 情報化推 進協議会と 京都情報 基盤協議 会が組織統	

							2日 1周年記念講演会の開催予定	合し、平成18年6月8日設立 (*1)会員数は平成19年4月1日現在	
大阪地域大学 間ネットワーク	ORIONS	--	--	--	--	--	--	http://edge.ee.tokushima-u.ac.jp はアクセス不可	--
関西ネットワーク 相互接続協会	WINC	--	--	--	--	--	2007.11 関西 Community 大 決戦に共催	1993.3設立	
神戸マルチメディア・インターネット協議会	KMIC	http://kmic.gr.jp/	2005.03.16	64	山田昭	アイクラフト(株)内(神戸市中央区)	2006.05.24 KMIC セミナー 開催予定	--	--
中国・四国インターネット協議会	CSI	http://www.csi.ad.jp/	2008.04.21	88	理事長 椿 康和	広島市中区	2008.03.15CSI ネットワークマ スター虎の穴市民 公開講座	1993.3設立 1999.9.21 特定非営利活動法人 認証 (*1)1999.3.1 時点	
高知ネットワーク 研究会	--	--	--	--	--	--	--	http://www.is.kochi-u.ac.jp/Kochi-INET/ コンテンツ参照不可	--
高知シティ・サイズ・エリア・ネットワーク協議会	KCAN	http://www.kcan.ne.jp/	2003.02	43	浜田 純 南国市長	株式会社シティネット内	情報化セミナー を開催 (2005/2/26)	コミュニティ(地域)に密着したネットワークの構築を推進する協議会 発足：1999年3月10日	--
KARRN 協会	KARRN	--	--	--	--	--	--	1992年5月 発足 (http://www.ktarn.or.jp/jnl/jnl9902/dai1.ht)	

								m) 2000.03.31 頃解散	
久留米・鳥栖地域インターネット協議会	KTARN	http://www.ktarn.or.jp/jnl	2007	32(*1)	会長 関弘文 (久留米情報システム代表取締役社長)	--	2000年12月第4回インターネットフェスタ開催	(*1)H19年度. 98年プロバイダ事業切り離し	
長崎県インターネット協議会	--	--	--	--	--	--	--	--	
宮崎地域インターネット協議会	MAIS	http://www.mais.or.jp/	2005	11(*1)	会長 中崎 忍 (宮崎大学)	MAIS事務局	2005年4月28日 MAIS 年会開催	(*1) 1994年発足	
沖縄インターネット協議会	OIA	http://www.oia.u-ryukyuu.ac.jp/	2007	--	会長 喜屋武盛基	琉球大学情報処理センター内	2008年2月23日 第102回 OIA 勉強会 開催	1996.12.23 発足	--

注記

97.9.5 会議

<http://www.toyama-tic.co.jp/triton/report/kaigi1/sidai.html> 参照

調査結果のまとめ

WWW ページを見る限りにおいて、活動の活発の隔差が広がっていると思われます。(WWW ページ上、活発な協議会は実際の活動も活発と見てよい)

活動主体の比重:産・官・学のどこにあるかが協議会によって異なります

活動内容の方向が協議会により異なります。方向とは具体的には、ビジネス、教育、福祉、技術、地域の政治的な結びつき、などのことです。

考察

地域協議会によって、重視する活動が異なるので、参考となる対象協議会は、TIC の専門委員会によって異なると考えられます。

地域ネットワークは NPO 化する傾向が見られます。

WWW 上の広報が重要であることを改めて認識しました。TIC から外に向けて、リアルタイムの発信をすることにより、地域内外の人的な広がりが期待できます。

特記事項

この報告に訂正事項等ある場合、TIC WWW ページ(<https://www.tokai-ic.or.jp/>)に 掲載いたします。

この報告についての連絡・問合せ先は、東海インターネット協議会事務局 (tic-sec@tokai-ic.or.jp) までお願いいたします。

Spam 対策声明文

TIC では以下の 5 原則で spam 対策を行っています。

- spam を送ってはいけない
- spam を中継してはいけない
- spam を受け取ってはいけない
- spam をバウンスしてはいけない
- spam を通してはいけない

TIC の spam 対策

TIC では MTA における spam 対策を行っています。

詳細は、<https://www.tokai-ic.or.jp/spam/> を参照ください

【お知らせ】

無料メールマガジンを 2005 年 7 月に発刊しました。<https://www.tokai-ic.or.jp/mmag/> から是非登録下さい。会員でない方も購読できます。(非営利イベント案内依頼などは、mmag@tokai-ic.or.jp まで。)

TIC Web ページ(<https://www.tokai-ic.or.jp/>) のデザインを更新しました。

セミナー、イベントの案内は TIC Wiki <http://wiki.tokai-ic.or.jp/>

TIC SNS(ソーシャルネットワーキングシステム)開設

<http://202.41.218.246/> 参加希望は sns@tokai-ic.or.jp まで。

発行日 2008 年 5 月 16 日
発行者 特定非営利活動法人 東海インターネット協議会 (理事長 中田 平)
事務局 新 〒460-0222
名古屋市中区丸の内 3-6-25 イトザキビル 5 階
有限会社 育才塾 内
E-mail: tic-sec@tokai-ic.or.jp
TEL: 052-957-4733 FAX: 052-957-2588

旧 (5 月 16 日迄)

〒460-0222

名古屋市中村区名駅 4-4-12 中経ビル

社団法人中部経営情報化協会内

E-mail: tic-sec@tokai-ic.or.jp

TEL: 052-581-1928 FAX: 052-581-6917

Copyright 1994-2008 Tokai Internet Council. All Rights Reserved.

- ・いかなる媒体でも次の条件が満たされている場合に限り、本著作をそのまま複製して配布することを許可する。
- ・受領、配布された複製物に著作権表示および本許諾通知が含まれること。
- ・複製物の受領者が更に再配布する場合、その再配布者が本告知と同じ許可を与えていること。
- ・本著作の内容を変更しないこと。